

西海学園高等学校年間学習指導計画

科目	単位数	4 単位（100 時間）
政治経済	学年・学級	第3 学年 2 組 普通科公務員
使用教科書，副教材等	東京書籍『政治経済』	

1 学習の到達目標

- ・政治・経済の内容について深く学び、現代社会のしくみについての認識をより深く、広いものにしていく。
- ・政治・経済の学習を通して、社会人として必要な資質を知識として身につける。
- ・公務員試験に対応できる力を身につける

2 学習の計画

学期	月	単元（教材）名	学習のねらい	主な学習活動
1	4	現代の資本主義経済 ・経済活動の意義 ・資本主義経済の発展と変容	・経済活動とは何か、またその特徴について理解する。 ・資本主義経済と社会主義経済の成立と発展について理解し、今日の資本主義経済にはどのような課題があるか考察する。	板書をノートに記入（～全て） ・初出の経済分野用語を実生活に結び付けて理解する。 ・人物も含め、経済と時代の流れも理解する。 ・資本主義経済、社会主義経済をグループで話し合う、まとめる等行う。
		過去の公務員試験で出題された該当単元分野を小テストする（～11月）		
	5	現代経済のしくみ ・経済主体と経済の循環 ・生産のしくみと企業 ・市場経済の機能と限界	・経済主体や経済の循環について理解する。 ・企業の活動を理解する。 ・市場における価格の役割や、独占禁止法による規制の必要性について理解する。	・経済活動について、グループワークを行うなど、実生活も含めて理解する。 ・企業の活動、現代の企業に求められていることなどを個人で調べ、まとめる。 ・需要と供給などの市場経済を理解し、独占・寡占など問題点を考察する。

学期	月	単元（教材）名	学習のねらい	主な学習活動
	6	・国民所得と経済成長 ・金融のしくみと機能 ・財政のしくみと企業	・経済活動の指標や景気の変動について理解する。 ・金融の役割や政策の手段について理解する。 ・財政の役割や税制のあり方について理解する。	・日常生活と結び付けてグループワークを行い、理解する。 ・個人に与える影響や近代の金融政策などについても考察する。 ・日本の歳入・歳出の変化、日本の今後の財政についてグループワークを行うなど、理解し考察する。
	7	- 日本経済の発展と現状 ・戦後日本経済の発展 ・日本経済の現状	・戦後復興からの日本経済の変遷と産業構造の変化について理解する。 ・バブル崩壊後の状況や2000年代以降の日本経済の対策について理解する。	・日本経済の変遷、バブルの発生と崩壊などの流れについて理解し考察する。 ・他国との比較、所得格差の解消などについて。グループワークを行い、理解し考察する。
	9	- 福祉社会と日本経済の課題 ・公害と環境保全 ・農業・食料問題 ・中小企業の現状と課題	・公害の発生や防止する方法について理解する。 ・戦後の日本農業の展開について理解する。 ・日本経済における中小企業の位置やその構造について理解する。	・公害発生の原因や循環型社会の形成に向けて、グループワークを行い、理解し考察する。 ・林業や漁業が抱える課題、これからの日本の農業と食料について考察する。 ・中小企業が抱える問題や中小企業政策について、理解し考察する。

学期	月	単元（教材）名	学習のねらい	主な学習活動
	10	・情報化の進展と社会の変化 ・消費者問題 ・雇用と労働問題 ・社会保障と福祉	・情報化の進展、第四次産業革命について理解する。 ・消費者問題発生理由や保護のための施策について理解する。 ・労働問題、憲法や労働者の権利について理解する。 ・社会保障制度の発展変化や日本の制度について理解する。	・統計資料の読解、デジタル社会の課題について、理解し考察する。 ・消費者としての行動や近年の問題商法などについても理解を深め考察する。 ・雇用環境の変化などについて、主体的に考察する。 ・日本の社会保障制度の特徴についてグループワークを行い、考察しまとめる。
	11	国民経済と国際経済 ・貿易と国際収支 ・戦後国際経済体制の展開 ・発展途上国の経済	・貿易や国際収支の各項目、為替レートについて理解する。 ・現代の国際通貨体制の変遷、近年の各国の経済政策について理解する。 ・問題やその解消に向けて阿取り組み、新興経済諸国の現状について理解する。	・円高・円安について、クラス全体で討議するなど、理解を深め考察する。 ・先進国、発展途上国も含めて理解し、考察する。 ・背景や歴史的経緯を含めて。理解し考察する。
	12	世界経済の現状と課題 ・グローバル化する世界経済 ・地球環境問題	・経済のグローバル化の進展や、近年の国際金融の変化について理解する。 ・地球環境問題やその対応について理解する。	・インバウンドのメリット、デメリットや、世界経済の課題について理解し考察する。 ・そもそも地球環境問題とはどのような問題か、また脱炭素社会の構築に向けての個人の取り組みなど、主体的に理解し考察する。

学期	月	単元（教材）名	学習のねらい	主な学習活動
	1	・資源・エネルギー問題 ・人口・貧困・感染症	・資源・エネルギーに関する課題や政策について理解する。 ・21 世紀の人口変動予測や日本の実情などについて理解する。	・統計資料などをもとに考察する。また、原子力発電に関するエネルギー供給の今後について、理解を深め、考察する。 ・持続可能な社会の形成に向けて、国際社会や一個人で考察する。
	2			
	3			